

キュウリ増収のための最適湿度と炭酸ガス施用方法

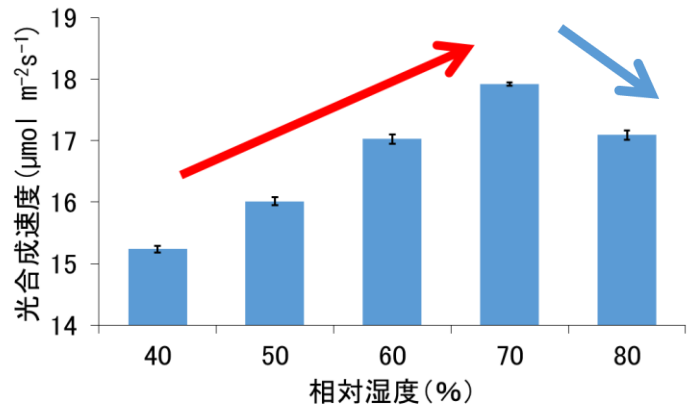
キュウリ栽培にとって最適な湿度条件と炭酸ガスの施用方法について検討を行いました。

その結果、キュウリ抑制栽培では、最適な湿度条件は相対湿度 70%でした。また、炭酸ガスは、400ppm 一定施用し、さらに日射に応じて 700ppm に高くすることで収量が約 2 割増加し、品質も向上しました。

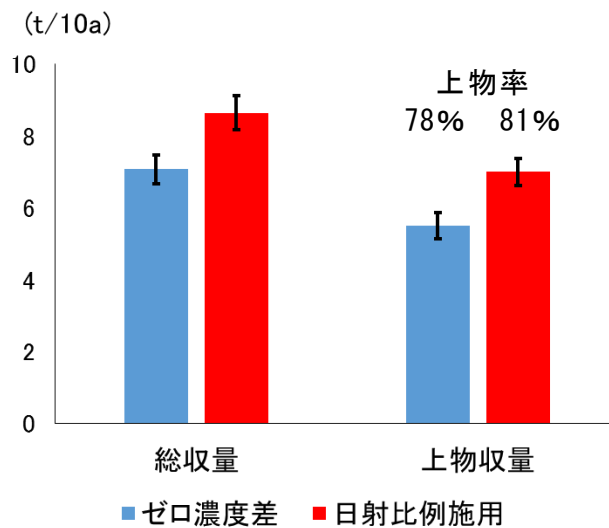


光合成測定の様子

湿度を 40%~80%まで変化させて光合成速度を測定しました。



抑制栽培での相対湿度と光合成速度の関係 (H30/12/18)



収量及び上物収量 (H30 抑制栽培)

キュウリの抑制栽培において相対湿度を 70%に維持し、炭酸ガス 400ppm 一定施用 (ゼロ濃度差) と日射に応じた 700ppm 施用 (日射比例) で比較